

目次

はしがき 2
本書の構成と使い方 10

第1章 andの正体	011
1-1 なぜandが大切なのか？(その1).....	012
and = 「そして」でいいのか？.....	012
1-2 なぜandが大切なのか？(その2).....	016
[1] 「等位」接続詞とは？.....	016
[2] 「andがあったら1つの文が終わる」という思い込み.....	016
1-3 なぜandが大切なのか(その3).....	019
TOEIC®やTOEFL®でも.....	019
1-4 andの結ぶもの(その1).....	022
[1] 「等位接続詞」の「等位」とは？.....	022
[2] 等位接続詞に分類されるもの.....	022
[3] 等位接続詞の結ぶもの.....	023
1-5 andの結ぶもの(その2).....	026
[1] andが結ぶものは「文と文」とは限らない.....	026
[2] 2つの動詞が対等のように対等でない？.....	028
1-6 andの前後の対称性に注意.....	030
品詞だけではなくandの前後の「対称性」にも目を配る.....	030
1-7 both A and Bでもandはand.....	034
[1] bothがあるうとandはand.....	034
[2] 厳密にはAとBが対等でないケースも.....	036
1-8 andの「意味」(その1).....	038
A and Bは文法上対等であればいいというだけではない.....	038
1-9 andの「意味」(その2).....	042
[1] andに注目することで.....	042
[2] A and Bは「反意語同士」も結ぶ？.....	045
1-10 andの「意味」(その3).....	047
A and B : Aして(その結果) Bする(因果関係).....	047
1-11 「共通構文」を解きほぐす(その1).....	050
[1] 「共通構文」とは？.....	050

[2] and以外にも.....	051
[3] (V + V) Cというパターンも.....	052
1-12 共通構文を解きほぐす(その2).....	054
[1] { (形容詞+形容詞) 名詞 } のパターン.....	054
[2] {(名詞+前置詞)+(名詞+前置詞)} 名詞というパターンも.....	054
[3] (A + B) Mのパターン.....	056

第2章 等位接続詞の深い意味	059
2-1 命令文and SV...の正体.....	060
[1] 〈命令文+ and〉は「そうすれば...」の意味？.....	060
[2] orの場合も.....	061
[3] 命令文の代わりになる表現.....	062
[4] 「今でしょ!」は英語で？.....	063
2-2 等位接続詞の前後が対等でなければ？(その1).....	064
[1] 等位接続詞の後ろは「省略」の「多発地帯」.....	064
[2] orやbutの場合も.....	066
2-3 等位接続詞の前後が対等でなければ？(その2).....	068
butの前後が対等ではない場合が.....	068
2-4 andの直後に余計なものが入り込む？.....	071
[1] 結ぶものがandの直後とは限らない.....	071
[2] Mが先行した理由.....	073
[3] Mの部分は副詞句だけではない.....	075
2-5 andの直後にコンマ(,)があったら？.....	076
[1] 「しかし、...」につられてしまうと.....	076
[2] コンマにも注目しよう.....	078
2-6 andがない？(その1).....	080
[1] andなしで〈A, B〉とあったら、「A、すなわちB」.....	080
[2] 同格のコンマの注意点.....	082
2-7 andがない？(その2).....	084
[1] 同格をつくるのは、〈名詞、名詞〉だけではない.....	084
[2] 「文と文」や「文と名詞」が同格の場合も.....	085
[3] A, B and Cのコンマの場合に注意.....	086
2-8 andがない？(その3).....	087
[1] 2つ以上の形容詞を並べる規則とは？.....	087

[2] 客観性の高いものほど名詞に近づく	088
[3] コンマのない場合の意味の違いとは?	090
2-9 but がコンマで代用されるケースとは?	092
[1] not only ~ but also の but がいないケース	092
[2] なぜ but が使われないのか?	094
[3] あえて接続詞を使わず、コンマで対比を表す	095
2-10 3つ以上の並列 (その1)	096
[1] 3つ以上の並列: いちいち and を置かないのが原則	096
[2] <A, B, C and D> のパターンも	098
2-11 3つ以上の並列 (その2)	100
[1] <A and B and C> となる場合も	100
[2] A, and B, C and D (???)	101
2-12 and not (to) do ...の to は不要?	104
[1] and not (to) do ...の to は不要?	104
[2] not to do が連続する場合は	107
2-13 not は and 以下も否定するのか?	108
[1] not to do and to do は not { to do and to do } なのか? ..	108
[2] 「A も B もない」なら and ではなく or	109
[3] A and B は $A \cap B$ (A と B の重複部分) に相当	111
2-14 and なのに逆接?	113
[1] and が「逆接の意味を表す」ケース	113
[2] 相反する2つのものを並べることで	113
2-15 A and A	116
[1] A and B が「同じ動詞」の場合	116
[2] 「同じ名詞」の場合は?	117

第3章 これも等位接続詞?

3-1 and 以外の等位接続詞 (その1)	120
英語の「逆接」とは?	120
3-2 and 以外の等位接続詞 (その2)	123
[1] 「前置詞」であっても but の意味は消えず	123
[2] 等位接続詞との共通点	124
[3] 副詞の but とは?	125
3-3 and 以外の等位接続詞 (その3)	127

[1] or の基本は「二択」	127
[2] A, or B 「A すなわち B」	128
[3] 「スマホやめますか? それとも大学生やめますか?」	129
[4] 否定と絡む場合、and と or では大違い	130
3-4 and 以外の等位接続詞 (その4)	131
[1] 等位接続詞でも、for の直後は SV のみ	131
[2] そもそも for の基本的意味とは?	131
[3] 鳥が鳴いても朝にはならない?	132
[4] 文頭に for が来る場合	133
3-5 これも等位接続詞? (その1)	135
[1] A as well as B でも A と B は対等のもの	135
[2] 共通関係を構成することも	137
3-6 これも等位接続詞? (その2)	138
[1] if や if not も	138
[2] A though B という場合も	140
3-7 これも等位接続詞? (その3)	141
[1] 比較の as や than は文法上対等のもの同士を結ぶ	141
[2] 直後に共通部分の省略が起こる	142
[3] 共通関係を構成することも	143
3-8 これも等位接続詞? (その4)	145
[1] so や yet は2つの文を結べるが	145
[2] so that の場合も that を省略すれば	147
3-9 等位接続詞と勘違いしやすいもの	148
[1] but と however の違いとは?	148
[2] 譲歩の however は接続詞	150

第4章 as の正体を探る

4-1 as の正体 (その1)	152
[1] as が「~として」となるのは前置詞の場合のみ	152
[2] 品詞を確認しなければ as の「訳語」は決まらない	153
[3] 慣用化した表現の品詞分析——場合によっては不毛に	155
4-2 as の正体 (その2)	156
[1] as は「怪人二十面相」?	156
[2] 「用語」で分類する前に	157
[3] as は also と兄弟?	158

[4] なぜ as の意味はこんなにもたくさんあるのか？	159
4-3 as の正体 (その3)	161
[1] 「東京ドーム何杯分」は東京ドームを知らない人には意味不明...	161
[2] as の「いたずら」	162
[3] as の「理由」は「ご存知のように～ですから」	163
[4] 明らかすぎて省略されることも	164
4-4 as の正体 (その4)	166
[1] as many as ～が「～も」になるわけは？	166
[2] 名詞の意味を限定することも	169
4-5 「前置詞」としての as	170
[1] as が「前置詞」の場合は①「～として」②「～の頃」	170
[2] 「～として」の用法：〈動詞 + A + as + B〉のパターン	172
[3] 前置詞なのに形容詞が続く場合も	173
4-6 同じようなこと (その1)	174
[1] 「同じようなこと」⇔「同じように」	174
[2] as 以下に代動詞 (do / does / did) や省略があれば	174
[3] as 以下が不完全文なら「様態」？	176
[4] 〈as V + S〉ときたら？	178
4-7 同じようなこと (その2)	179
[1] 「対比の as」とは？	179
4-8 同じようなこと (その3)：比例と同時	182
[1] as の後ろに「変化・増減を表すもの」があったら「比例式」	182
[2] 「比例式」とはいえない場合は単なる「同時進行」	184
4-9 同じようなこと (その3)	185
[1] なぜ as に「理由」の意味が出るのか？	185
[2] because や since との違いとは？	186
4-10 同じようなこと (その5)	188
[1] 比較のルール①：as ～ as で2番目の as 以下では共通部分は省略	188
[2] 比較のルール②：比べるものは文法上対等のもの同士	189
[3] 比較のルール③：as 以下は明らかすぎて省略されることも	189
4-11 同じようなこと (その6)	191
[1] as ～ as ... = 「...と同じ」???	191
[2] as ～ as any の意味	192
[3] as ～ as ever ... も	194

第5章 as はまだまだ奥が深い	195
5-1 「同じようなこと」の as がなぜ譲歩に？	196
[1] なぜ「同じようなこと・もの」を表す as が譲歩になるのか？	196
[2] 「譲歩の as」は本来は「比較」	196
[3] Try as S will / may の場合も	198
5-2 意外と知られていない「名詞限定の as」	200
[1] as が名詞の意味も「限定」	200
[2] 関係代名詞との違い—単に名詞の欠落の有無だけなのか？	200
[3] 〈名詞 + as + 過去分詞 / 形容詞〉のパターンも	203
5-3 関係詞の「成りすまし」の as	205
[1] 本来は接続詞	205
[2] 「成りすまし」as の2つのタイプ	206
[3] 前の文を先行詞とする which との違いとは？	210
5-4 as と省略	211
[1] as = 「同じようなこと・もの」なら as 以下でも省略が	211
[2] 〈as + 前置詞 + 名詞〉の場合も	213
[3] as if (まるで...のように) も様態の as の省略表現	214
5-5 as の直後に動詞が続く場合は？	215
[1] as V ... と続く場合 その①：関係詞もどき (疑似関係詞)	215
[2] as V ... と続く場合 その②：S (主語) の後置	216
[3] 〈as V + S〉となるわけは？	218
5-6 as it is の3つの「意味」	219
[1] 「あるがままに」	219
[2] 「(予測や願望・仮定表現と対照して) ところが実際には」	220
[3] 「(現状でも) もうすでに」	221
5-7 as ... が名詞節になる場合とは？	223
[1] as 節が補語に	223
[2] 類似表現との関連：what	225
[3] the way SV ... との関連性	226